

銀河通信

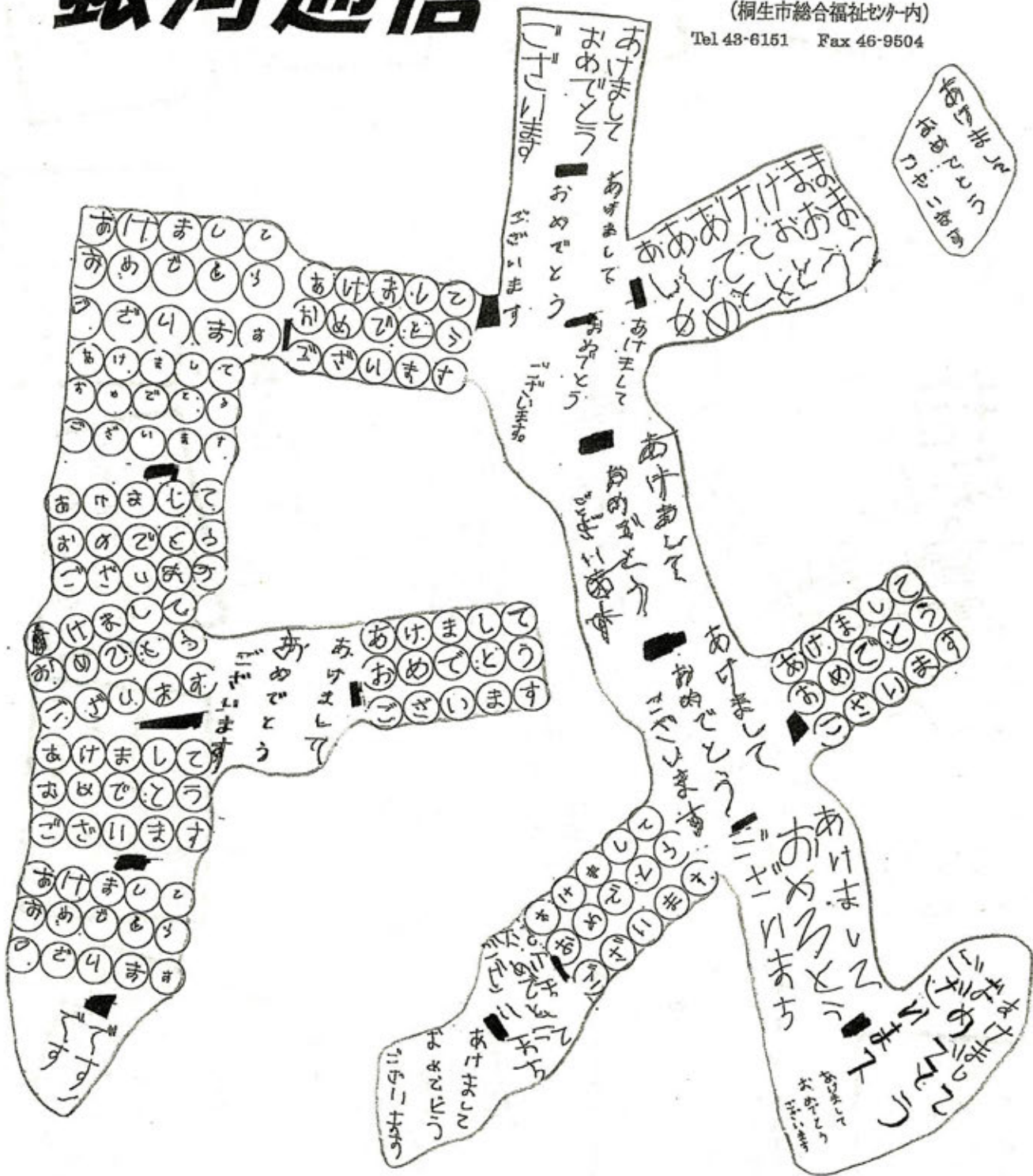
NPO法人 北斗七星

〒376-0006 桐生市新宿 3-3-19

(桐生市総合福祉センター内)

Tel 43-6151 Fax 46-9504

桐生市
福寿ビル
7F 201号



四字熟語をイラストと文字で書いてみました！
太枠に囲まれた文章がどの四字熟語に当てはまるか考えてみて下さいね！

例

熟語の意味
○○○○

美しい景色も
楽しみも穏やかに
T由田も過ごしたい
答え…花鳥風月
平松

今年も、アイディア
出し合ひ絞れ出し
いい仕事したいな。
創意工夫
佐藤(弘)

病気や笑いや
心配事な
平穩に暮らしたい
答え無事無事
柏井

自分自身も
褒めて
モチベーションUP
答え自画自賛
砂川

未来を信じて
自分らしく
楽しく過ごしたい
未信吾愉
新井

固定観念に
とらわれない
柔軟思考
遠原

生涯青春

指導員に
お世話になりました！

今年の抱負は なんだけ！！ 四字熟語

造語あり？ 熟語あり？

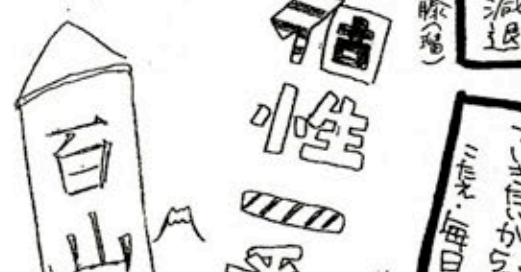
巻頭話題？

どんな時も
笑顔(た)と
こたえ。日々
前進。
田畑

家族みんなが
笑顔で
日、笑顔と
絶やさない
亀井

いっぱい歩いて
やせたい。
おいしい空気を吸
たい。
百山闊歩
松井

他人の事ばかりに
気をとらわれず
自分を信じて頑
りた！！
園田(一希)
長井



感謝の気持ち
忘れずに日々
頑張るぞ。
答え
毎日感謝
三浦

空行く風や
流れる水のように
自然に生きたい
行雲流水
藪塚

週間と限らず
日々の本を
読む習慣
読書習慣
岩野

ダイエットをして
コレステロールを
下げる
瘦身健康
関口

日々、穏やかに
楽しく過ごしたい。
……という願望。
日々穏楽
中尾

私の元気の源は
毎朝の運動と
健康的な食生活
答え…愛入元気
石田

好奇心の持てる
心で世界を
見つめたい！！
好奇心の持てる
心で世界を
見つめたい！！
肉取女子
三井

無事無事

百山闊歩

食欲減退

毎日感謝

未信吾愉

毎日笑顔

顔

女子

健康

ついつい食べすぎて
しまうので…人並み
か、で体重キープ
こたえ
食欲減退
佐藤(隆)

いんせいの
お悩みを
解決する
大塚(隆)の
アドバイス
こたえ…毎日
読書
藤生

年を重ねても、若
く、日々挑戦の
心で生きて
他者に劣る
答え…生涯青春
龍澤

好奇心の持てる
心で世界を
見つめたい！！
好奇心の持てる
心で世界を
見つめたい！！
肉取女子
三井

発達障害の子「仕事体験」

障害者雇用は

いま

5

ことを後回しにしたり質問を繰り返したりして、対人関係などで苦労することが多い。

こうした課題に対処する動きも出てきた。

知的障害などがある子どもが通う特別支援学校高等部では、職業訓練に力を入れる。一方、発達障害のある子どもは、多くが通常の小中高校や通信制高校などに通っており、将来の就労を見据え、障害の特性を考慮した教育はほとんど行われていない。

そのため、就職活動で苦戦しがちだ。就職後も、大事な



コーヒークップを載せたトレイを男性スタッフ(左の前)に丁寧に置く男子生徒(川崎市の「TEENS川崎」)

崎市)で、働く力を育てる週末プログラム「お仕事体験」の一環だ。

ネットショップ運営や会社の採用活動などの疑似体験もある。平日午後には学習支援も行う。これらを通じ、やることに優先順位をつけたり、適切なタイミングで質問や相談をしたりすることを学ぶ。

TEENS川崎の運営会社、Kaizen(東京)執行役員の飯島さなえさんは「発達障害は個人で得意不得意が違う。一人一人に合わせて目標を細かく変えるなど支援を工夫している」と話す。

同社は発達障害がある人向けの就労移行支援事業所を東京都、神奈川県に持つが、約1割は就職に至らない。子ども

個々に合わせ働く力養う

もの頃からの対策が必要と、2014年にTEENSを始め、現在6か所で展開する。昨年から通う男子中学生は「人見知りや家族以外と話すのが苦手だったが、人と協力する大切さを学び、丁寧な言葉遣いができるようになった」と話す。

子どものうちからやりたい仕事を考えさせようという取り組みも始まっている。

発達障害の子どもの学習教室「LITALICOジュニア」は今年、千葉校など2校で試験的に中高生向けキャリアプログラム「コダワーク」を行っている。職員や店員など身近な人に話を聞いて働く意味を考え、興味を持ってそうな仕事について調べる。担当の庄司今日子さんは、発達障害の高校生が通う学校の元教員。卒業生の多くが人材不足で入りやすい業界に就職する実態があり、「やりた



(おわり)
(西内高志が担当しました)

障害者雇用は

いま

2

法定雇用率達成に苦心

1/18

障害者の法定雇用率を満たすのに四苦八苦している企業は多い。採用活動が大変な上、採用できても職場に定着せずに辞めしてしまうケースも目立つ。

「障害者に合った仕事は社内にも多くない」。東京都内で検査機器を扱う企業の採用担当者はこぼす。法定雇用率の達成にはあと1人雇う必要があるが、障害者から応募があっても用意できる業務への適性がなく、採用

を見送ることが多い。一方で、

「適性があった採用を検討しても、条件のいい大手企業に行かれてしまうこともある」と嘆く。

都内の情報サービス会社は法定雇用率を達成しているが、業績向上に伴い、従業員全体の数を増やしている最中だ。法定雇用率を満たし続けるため、担当者には「障害者の採用活動を緩めるわけにいかない」と話す。

*

障害者に長く働き続けてもらい、職場への定着率を上げることも課題となっている。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(千葉県)の2015～16年度の調査では、ハローワークを通じて障害者雇用枠で就職した人の1年後の定着率は、知的機能が制約が見られる知的障害者が75・1%、肢体不自由や視覚障害、聴覚障害などの身体障害者が70・4%、統合失調症や双極性障害(そううつ病)などを持つ精神障害者が64・2%だった。

同機構障害者職業総合センター主任研究員の高瀬健一さんは

課題も定着も職場

「合った仕事多くない」

「精神障害者の場合、職場の間関係や業務内容が合わないことによるストレスで、病状が悪化するケースが多い」と話す。

甲信越地方のある食品会社では14年以降、6人の精神障害者を採用したが、3人が半年以内に退職した。1か月で辞めた人もいるという。

大手企業が障害者雇用促進のために設立した、都内のある特

例子会社では5年前、精神障害を持つ20代の男性を雇った。男性はしっかりと業務をこなしていたが、次第に「自信を持ってない」と不安を口にし出した。その後、メールで突然、「死にたい」などと送ってくるようになり、1年ほどして入院。それを機に退職した。

担当者は「社会的使命として精神障害の方を雇わねばと思いつつ、それ以来、雇用できていない」と打ち明ける。

障害者雇用コンサルティング会社、ゼネラルパートナーズ(東京)の田島尊弘さんは、「精神

障害の特性や、職場でどんな配慮が必要かの知識がないため、腫れ物に触るようになって「ミニミニケース」が不足しがち。それが定着を阻害する面も大きい」と話す。

*

現状でも達成が簡単ではない法定雇用率は、来年4月に引き上げられる。また、長く働いてきた身体障害者が高齢になり、今後相次いで引退していくことが予測される。

上智大学教授(社会保障法)の永野仁美さんは「雇用率の引き上げや引退する障害者の補充などを理由に、安定的な就労に難しさを抱えることの多い精神障害者の雇用にも、企業は取り組みなければならなくなる」と指摘する。

現行の制度では、重度障害者1人について2人分の雇用とカウントできる。「障害が重度か否かではなく、就労の難しさに応じて2人分とか1・5人分とみなすなど、適切な雇用率の力」が求められる。適切な検討が必要であるのではないかと話す。

精神障害者が離職した個人的理由※複数回答

職場の雰囲気・人間関係	33.8%
賃金、労働条件に不満	29.7%
疲れやすく体力、意欲が続かなかった	28.4%
仕事内容が合わない	28.4%
作業、能率面で適応できなかった	25.7%
症状が悪化(再発)した	25.7%

(2013年度、厚生労働省調べ)

企業での障害者の職場定着率(%)

	3か月後	1年後
身体障害者	86.8	70.4
知的障害者	91.2	75.1
精神障害者	82.7	64.2

(2015～16年度、高齢・障害・求職者雇用支援機構調べ)

プロのシュートに大歓声

群馬クレインサンダーズ選手ら訪問

渡良瀬特支で一緒にバスケット

みどりの市等懸町の県立渡良瀬特別支援学校(竹澤敦校長)に7日、プロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」の選手2人が来校した。高等部を中心に生徒約120人が体育館に集合し、プロと一緒にバスケットを楽しみ、良いプレーが出るたびに拍手でたたえあっていた。スポーツの楽しさや素晴らしいところを知らせたいと、トップアスリートが県内の特別支援学校などに来て体験授業や講演会を行う「トップアスリート交流事業」の一環。県や県障害者スポーツ協会などが主催し2015



年度から行われている。徒が集合。群馬クレインサンダーズの栗原英太選手(24)と中野広人(23)が登壇する。体育館には高等部91人と小中学部の一部生

ると大歓声と拍手で迎えられた。あいさつを終えると一緒にバスやフリースローを練習。最後は同校バスケットボール部員がプロ2人に数的有利で試合に挑戦。バスケット部員は、バスでプロ2人を振り払い、次々とシュートを決め最終リードで勝利をつかんだ。プロ2人も数的不利ではありながら、巧みなドリブルやダンクシュートなど迫力あるプレーを見せ、観戦した生徒は両雄に絶え間なく声援や拍手を浴びせていた。

バスケット部員の金子順司さん(高等部3年)は「緊張した。プロは技がたくさん出てすごかった」と語っていた。

バスケットボール部がプロ2人に挑戦し、熱戦を繰り広げた(渡良瀬特別支援学校で)



東京学芸大 教育実践研究支援センター教授

菅野 敦さん

12/8 朝日

選挙権年齢が18歳に引き下げられ、特別支援学校でも主権者教育が始まっています。知的障害のある子どもに対して、学校現場は、どんな風にアプローチすればいいのでしょうか。



教育現場では、昆虫のように身近で関心をひき、視覚的に比較しやすい教材選びが重要です。知的障害があっても、このような学習を積み重ねることで、物事を観察、比較して自己選択や決定をし、振り返ることもできるようになります。そして、最終的には、主権者教育にもつながると考えます。

特別支援学校の主権者教育は、まだ手探りの状態です。観点を定め、優先順位をつけて得点化する学習方法は、今後、ICTの活用などで実現しやすくなるかもしれません。また、この自己決定の学習方法をパッケージ化できれば、主権者教育の基礎として活用できると考えています。(聞き手・円山史)

30代の会社役員男性。長男の障害のことを、私の祖父母に伝えるべきかどうかで悩んでいます。

長男は3歳になる直前、知的障害を伴う自閉症と診断されました。妻や支えてくださる方のおかげで、4月から小学校に通う予定ですが、その後も多くの支援が必要です。

私には、高齢の祖父母に長男のことを伝え、落胆させたり不安を与えたりしたくない気持ちがあります。障

長男の障害 祖父母に伝えるか

害のことを理解してもらえない自信もありません。障害児というレッテルを貼られ、祖父母と私たちの関係が崩れてしまつことにならないか心配です。

妻とは、いずれ祖父母にもわかるから、あえて伝える必要はないというところで一致しています。私の両親も同じ意見です。

しかし、真実を隠して祖父母と接していくことに後ろめたさを感じるのも事実です。

(大阪・Y男)

人生案内

大日向 雅美 (大学教授)

わが子に障害があると知ったあなた方夫婦の胸中と、日々の子育ての大変さをお察しします。毎日よく頑張っておられますね。それだけに、祖父母に隠すか否かに悩んでおられることに心が痛みます。

打ち明けることで関係が壊れることを心配しておられますが、むしろ、落胆するような反応であっても、あなたにそれを受け止める自信があるかどうか、本当の問題なのではないでしょうか。おじい様たちが長男のことを理解してくださるかどうかは正直なところわかりません。伝えるのに最適な時期は、相手によるのではなく、どのような

反応が返ってきたとしても受け止めることができる、あなた方が感じることができるときだと思えます。

そうした時を迎えるためにも、心に留めていただきたいことがあります。人は誰もがこの世に必要とされて生まれてくるということなのです。その子の存在が誰かに失望を与えるなどと考えることがはないのです。

周囲の多くの方々が家族を支えてくださっています。懸命にご長男を育てているあなた方に共感し、少しでも力になりたいと思っています。あなた方にはたくさんのお味方がいることをどうか忘れないでください。

かんの・あつし 1954年生まれ。大学卒業後、岩手県で知的障害の養護学校の教諭として4年間勤務。その後、筑波大学院に入学し、知的障害児の学習と発達を研究。ダウン症を中心に、生涯発達支援などに取り組んでいる。

知的障害児の主権者教育

自己決定 身近な題材から

15年ほど前から、知的障害のある人が成人期になってトラブル回避や将来設計などを学ぶオープンカレッジを開いています。そこでは、自己選択や意思決定を苦手とする知的障害者の支援方法について研究しています。

身近な「モンシロチョウ、アリ、ハチの虫」はどの昆虫が好きかを例に考えると、各昆虫を観察して「体のつくり」「足の数」などの観点ごとに特徴を整理し、共通点や違いを把握します。そして、自分はその観点を優先するかを決め、各昆虫を比較して優先順位を配点。各観点ごとに付けた点数を合計して得点の高いものが、自身の選んだ「好きな昆虫」になります。

にゅうすぽくす

NPO 法人

「北斗七星」情報箱

平成30年 / 月30日発行

2018年 冬号

No. 1

発達障害の子 自己決定の力を

自立助ける育て方 母が本に

発達障害のある子どもをどう育てるか。川崎市の明石洋子さん(1)が自らの体験を踏まえ、発達障害の子どもの育てている人を応援する本「思いを育てる、自立を助ける」(本の種出版)を出した。カギは「自己決定」にあるという。

長男の徹之さん(45)は2歳の時、知的な遅れを伴う自閉症と診断された。洋子さんは衝撃を受けたが、「地域で自立できるように成長を助けよう」と気持ち切り替えた。

「『できること』より『幸せになること』を子育ての目標にした」という洋子さん。徹之さんが幼い頃から特性に合わせてかわり方を工夫した。例えば、言葉の訓練は難航したが、近所の人から「おはよう」と声をかけてもらうと、あいさつを返すように。さらに、日常生活で選択肢の中から選んでもらうことを積み重ねた。こうして本人の「思い」を育ててきたことで、徹之さんは「高校に行きたい」「公務員試験を受けたい」と自ら目標を設定。定時制高校に4年間通い、今は市職員として清掃の仕事に就いている。



発達障害に関する勉強会で講師を務めた明石徹之さん(右)と洋子さん。洋子さん提供

自立をモットーに、支える地域に支援の

講師

明石徹之

発達障害

他人とのやりとりが苦手な自閉症などの「広汎(こうはん)性発達障害」、読み書きなど特定の事柄に困難を抱える「学習障害(LD)」、落ち着きがない「注意欠陥・多動性障害(ADHD)」などの総称。生まれながらの脳の機能障害が原因とされる。文部科学省の2012年の調査では、全国の公立小中学校の通常学級に発達障害の可能性のある子どもが6.5%いると推計された。

と自ら目標を設定。定時制高校に4年間通い、今は市職員として清掃の仕事に就いている。洋子さんは1989年にボランティアで「おおぞら共生会」を立ち上げ、障害者が暮らしやすいプルームや相談窓口を運営している。著書では、これまで活動で寄せられた悩みをもと

「思いを育てる、自立を助ける」に載ったQ&Aから抜粋

- Q: 子どものためには自分の人生をあきらめるべき?
- A: 仕事を辞めることはないですよ。私は薬剤師の資格をもっていたので、息子が保育園に入ってから、パートで薬局で働きました。子どものかかわりは「時間でなく密度」だと思っています。
- Q: どんなに誘ってもトイレで排泄ができません。
- A: 長い目で見てあげてください。徹之は4歳、弟が1歳半で、弟を手本に「トイレでおしっこをする」計画を立てました。3年以上かかりましたが、根気よくすればできます。
- Q: 食べられるものがごく少なく、給食が苦痛なようです。
- A: 人が好きになり、体験が増えるにつれて社会性が広がり、その中で偏食が改善されていったようです。子育ても目標を「思いを育て、思いに寄り添う」にして、私のかかわり方が変わったので、息子も変わったのかもしれない。

にゅうすほくす

2018年 冬号

No.2

に、地域とのかかわり方やしつけなど34の質問に答えた。最近「障害のある子どもが働けない、働かない」といった相談が増えているという。

洋子さんは「小さい時からの選択の積み重ねがあって、初めて自己決定ができる。子どもが何に困っているか、想像力を働かせて成長を助けてあげて」と呼びかける。

著書は「発達障害の子の子育て相談」シリーズの1冊。問い合わせは本の種出版(03・5753・0195)へ。(見市紀世子)



ダウン症の人の力 感じて

ダンスグループ「ラブジャンクス」CD発売



生き生きとした姿を伝え、可能性を広げたい。15年にわたり活動を続けるダウン症の人たちのダンスグループ「ラブジャンクス」が今秋、CDを発売した。ミュージックビデオの制作や無料ライブも計画。資金を募っている。

ライブ計画、支援募る

先月下旬、都内の公共施設で開かれたアドバンス(上級者)クラスのレッスンには10〜30代の約50人が参加。立ち位置やステップを確認しながら、インストラクターの手拍子に合わせて踊った。ダンスを始めて7年目の埼玉県和光市の山田凜人君(18)は「逆立ちとかジャンプとか、いろんなことができている。母の三佳さん(38)は「落ち込むと立ち直れなくなる性格だったが、ここへ通ううちに切りかえが上手になった」と目を細める。

ラブジャンクスは2002年、沖縄アクターズスクール

で教えていた牧野アンナさん(46)が始めた。この年、半年間ダウン症の子らを指導。屈託のない笑顔に触れ、「一生の仕事に」と決めた。今では、関東、関西、沖縄を拠点に計700人が参加するエンターテインメントスクールを主宰している。

ただ、彼らの活躍の場はまだ限られていると、牧野さんはもどかしさを感じる。「パワーや可能性に気づいてもらえたら」と、歌にも挑んだ。

9月に完成した初のCD「LOVEJUNK」には3曲を収めた。1曲目の「LA LA LA One Love」は、メンバーの待寺優さん(27)が、軽快なリズムで命の尊さや自分らしく生きることを歌う。2曲目は、角谷藍子さん(16)のバラードだ。ダンスパフォーマーグループ「Panic Crew」のボーカル植木豪さんら、プロの音楽家が協力した。

今後、ミュージックビデオを制作する。来年3月3日には、代々木公園(東京都渋谷区)で「世界ダウン症の日」(3月21日)に合わせた無料のライブを計画している。

こうした取り組みへの支援を、朝日新聞社が運営するクラウドファンディングサイト「A-Port」(<https://a-port.asahi.com/project/slovejunk/>)で来年1月16日まで受け付ける。金額に応じて、特等席でのライブ観賞、CDなどの特典がある。問い合わせは事務局(03・6869・9001)。

CDは税込み1千円、配信は750円。購入方法などはラブジャンクスのウェブサイト(<http://turbox.jp/>)で。(栗田優美)

デジタル版に動画

放課後デイサービス 急増

障害ある子預かり 5年で4倍に

障害のある子どもを預かる「放課後デイサービス」が急増している。開設の条件が緩いこともあって新規参入が相次ぎ、5年間で4倍以上になった。その反面、質の低下への懸念が強まっており、厚生労働省が対策に乗り出した。



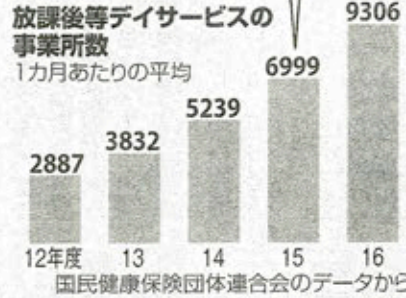
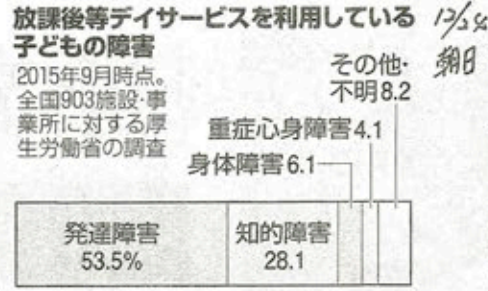
子どもたちを見守る石毛利枝さん＝千葉県船橋市

事業の質ばらつき 「アニメ見せるだけ」苦情も

千葉県船橋市にある発達障害児向けの放課後デイ「STEP」は昨年10月に開設された。ビルの2階、約70平方メートルの部屋に特別支援学校の子どもらが通う。月に1度の調理実習日。子どもたちはエプロンをつけ、フルーツサンドづくり

放課後等デイサービス

障害児を放課後や長期休暇中に預かるサービス。利用者の負担は原則1割で、所得に応じた上限もある。厚生労働省の2015年の調査によると利用者は小学生が62.2%、中学生が21.7%、高校生が15.4%。民間企業や社会福祉法人が運営するほか、公立もある。



に挑戦した。シャムをうまく塗れなかったり作業が遅れたりしても、職員は「おいしそう。上手だね」と励ましながら見守る。施設管理者の石毛利枝さん(52)は「自分に自信が持てず息苦しくなりがちな子どもたちが、達成感や自己肯定感を得られるように支援する場所」と説明する。

障害のある子どもは一般の児童保育では対応が難しいため、放課後デイは共働き世帯のニーズが高い。2人の子どもの預けるパート女性(41)は「以前は働くことをあきらめていたこともあった。預かってもらっている間に働けるようになって助かる」と話す。

放課後デイが児童福祉法で制度化された2012年度初めは2540事業所だったが、今年4月時点には1万613事業所になり、約16万人が利用する。

だが、放課後デイの事業者でつくる「障害のある子どもの放課後保障全国連絡会」には苦情も集まっている。本来は生活能力を高め

職員に資格求める 緩かった基準 厚労省が改定

放課後デイには子ども10人で職員2人という配置の最低基準がある。ただ、子どもとかわる職員は資格が必須ではなかった。

厚労省の担当者は「事業者によってサービス内容に大きな差がある」と指摘する。そこで厚労省は、職員の資格に新たな基準を設定。子どもに対応する職員は児童指導員や保育士、障害福祉サービスでの勤務経験がある人に限り、管理責任者は障害者や子どもにかかわる分野での「3年以上の実務経験」という条件を設けた。

また、来年4月に改定される障害福祉サービスの報酬では、基準より多く職員を配置した際の加算配分を見直す方向で調整。児童指導員の資格がある職員への配分を大きくする。

新しい基準は来年4月から完全実施する方針。厚労省は事業者に対し、それまでに職員の資格基準を満たすよう求めている。

こうした対策について、京都市の放課後デイの責任者で精神保健福祉士の山本剛郎さん(41)は「障害の特性を理解して対応するには様々な専門知識や経験が不可欠。優良な事業者が増え、保護者が安心して選べるようになれば」と話す。

京都教育大の丸山啓史准教授(障害者教育)は「質を上げるには、職員の専門性に加え、子どもと触れ合う人を増やさなければならぬ。配置を厚くすること、質を担保する制度にしていく必要がある」として、職員の配置基準の見直しも求めている。

(畑山敦子、船橋校)

障害者雇用 最高5041人

県内の企業1378社調査

群馬労働局は12日、今年度の県内の障害者雇用状況を発表した。企業の実雇用率(6月1日現在)は、前年比0.06ポイント増の1.96%、雇用している障害者は同259.0人増の5041.5人で、過去最高となった。調査は、県内に本社がある

は、前年比1.1ポイント増の57.5%(793社)で、全国平均(50.0%)を上回った。同労働局は「企業のコンプライアンス(法令順守)が高まってきていることなどが要因」としている。

県が雇用している障害者は158.0人で、実雇用率は同0.26ポイント増の2.64%となり、公的機関の法定雇用率(2.3%)を達成した。



にゅうすぽっくす

2018年 冬号

No.2

NPO 法人

「北斗七星」情報箱



2018 年
冬号

No. 3



特別支援の子が学ぶ機会充実に

10/30 朝日
塾講師 小笠 直人
(東京都 42)

「最高気温18・2度」「与党で議席2/3」。これらが小数や分数なのは常識だろう。学校で習ったことだから。私の塾には、ダウン症や自閉症などで特別支援学校や学級に通う障害のある子どもが多く通う。特別支援学校の学習指導要領は、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を掲げる。自立を図るために必要な知識や技能などを養うという教育目標から、暮らし、働くための訓練的な授業が入り、その分、国語や算数などの授業が減る。実際、塾の子どもたちの教科教育の時間は、普通学級に比べ圧倒的に少ない。小学校の特別支援学級では、四則計算の習得を6年間の目標にし、小数や分数まで教えないことが多いようだ。そこで、塾の授業でとりあげると、新しい数の世界を知った子どもたちは目を輝かせて学ぶ。世の中には小数や分数があふれている。身長や体重、八掛けといった商品の割引や金利など。これらは知らないことと不利益を被るリスクが高まる。本来、そうした学習機会を公教育で保障すべきなのに、日本では放棄しているように感じる。これは差別ではないだろうか。

親切心に涙が出そう

12/8 朝日

ひととき

先日、JR中央線で異臭騒ぎがあり、22歳の次男が乗っていた電車が止まってしまった。知的障害のある次男は、勤務先の飲食店に向かう途中だった。次男は途方に暮れて車内から携帯電話で連絡してきた。私は「まず勤務先に電話して遅刻すると伝えて」と言った。そして状況を色々たずねたが、次男は「わかりません」と答えるばかり。すると突然、電話の音が女性に変わった。次男が困っている様子に気づいて、電話口に出て下さったのだ。女性は現状を説明した後、「息子さんほどごま



「アスペ」使っていませんか

12/2 朝日
会社員 吉原 貴也
(新潟県 22)

アスペルガー症候群を略した「アスペ」という言葉を、その障害を持った人や、空気の読めない人への蔑称として使う人が少なくない。SNSを見れば、こうした偏見が当たり前のように扱われていて嘲笑するコメントさえある。私は当事者として、このような状況に怒りを感じる。確かにアスペルガー症候群の人は、空気を読むことや、人とコミュニケーションをとることが苦手ではある。だが、それを笑う必要性がどこにあるのか。空気を読めない人を軽蔑するなんて、ただのいじめじゃないか。小学生や中学生なら、「人を馬鹿にするようなことをしてはいけないんだよ」と言っ

店員さん、ありがとう

1/17 朝日

ひととき

お正月、家族でショッピングセンターに行った。次女は20歳。ダウン症で重度の知的障害がある。言葉での意思疎通は難しく、次女との外出はいまだに何が起るか予想できない。「未知への挑戦」という感じだ。お屋はレストランへ。私の心臓はドキドキ。テーブルにつき、注文する。食事が来た。ニコニコと機嫌良く、よく食べる次女。その様子に安心していた。が、突然隣のテーブルの赤ちゃんが大声で泣き出した。すると、次女が大声で叫んだ。次女の叫び声が響き、夫と長女は次女と一緒にすぐ店を出た。私も急い

でお金を払って出ようとした時、店員さんに「食事はおいしく食べられましたか？大丈夫でしたか？」と優しく声をかけられた。涙があふれた。店員さんが、「あなたの気持ち、分かっていますよ。大丈夫ですよ」と言ってくれているように感じた。外出先でそんなふうに声をかけられたのは初めてだった。何が起きてても対応できるように緊張している気持ちだが、店員さんの言葉でホッとしました。私は何も言葉にできなかったが、心の中でこう言っ



障害者への虐待、27件認定

1/16 朝日 昨年度県まとめ 相談・通報は91件

障害者への虐待について、自治体などに寄せられた相談や通報が、2016年度は計91件（前年度比42件減）あったことが県のまとめで分かった。うち虐待と認定された事例は27件（前年度比1件減）だった。

相談件数が最も多かったのは、家族や同居人など養護者によるケースで44件で、うち9件が認定された。障害者が利用する福祉施設の職員らによるケースについても26件の相談・通報があり、うち7件が虐待と認められた。虐待をした職員の職種では、身の回りの世話などをする生活支援員によるものが6件と最も

多かった。

虐待と認定された事案全体では、身体的虐待が12件、暴言など心理的虐待が10件と多かった。ネグレクト（世話の放棄や放置）と、就職先の使用者から適切な賃金が支払われないといった経済的虐待が各5件。施設職員による性的虐待も1件あった。

前年度は通報、相談件数が1333件で、うち28件が虐待と認定されていた。県障害政策課の担当者は、通報件数が減ったことについて「障害者虐待防止法が浸透し、施設などで虐待と疑われる行動をしないようにしている」とする一方、「認定された虐待件数は横

ばい。今後も虐待を予防するための研修会や施設への出前講座、相談窓口の周知をしていきたい」と話す。



にゅうすぽくす

2018年 冬号

No. 3

障害者排除せず助け合う時代に

1/18 朝日 臨床心理士 山本 伸子 (神奈川県 63)

私には知的障害のある兄がいる。小学校入学と同時に兄の担任から、教室を飛び出した兄をさがすよう指示されたり、近所で仲間外れにされたり、家ではいら立つ母のストレスのはげ口にされたりと、悲しい思い出ばかりだ。記憶は全て心の底に沈めて生きてきたつもりだった。

記憶のふたを開けたのは相模原の障害者殺傷事件だ。突然、小学生の時に父が泣きながら口にした断種という言葉を思い出した。兄の養護学校の校長から去勢するよう言われたらしい。遺伝というものは、私も世の中から不要と言われている気がし

だが、これは優生思想という極端な思想だと思っていた。

ところが、宮城県の60代の女性、不妊手術を強制されたとして提訴するという記事を読んだ。実際に約半世紀前、断種は行われていたのだ。恐怖で背筋が凍る。人々の「本音」は今も変わっていないのではないかと

実際、出生前診断により命の選別が行われている。確かに先天性疾患は減るかもしれない。一方、事故や病気などで誰もが障害者になりうる。そろそろ効率から個性に価値観を転換する時が来ているのではないか。性別、年齢、障害を越えて皆が個性を發揮し、補完し助け合う時代が来ることを強く望む。

障害者の家族 SOS発して

1/30 主婦 大西 理恵 (広島県 55)

大阪府寝屋川市で33歳の女性が大十数年前から自宅で閉じ込められ、先月凍死したと報道で知った。死体遺棄容疑で逮捕された両親は「精神疾患で暴れることがあり周囲に知られたくなかった」と供述しているという。その感情は障害者を抱える家族なら一度は経験したことがあるのではないかと

我が家には成人した知的障害の娘がいる。情緒不安定で大きな音や声、人の視線などに過敏なため常に配慮が必要だ。13歳前後の頃は特に不安定で睡眠が不規則に。夜中に何度も目を覚

まし、泣き叫ぶこともあった。医療機関や市の福祉課に相談し、ご近所にも娘の状態を話して頭を下げた。周囲がどう思うか、そればかりが気になった。

そんな時、障害のある子を持つ女性に出会った。「頑張りすぎないで。泣きたい時には泣いていいのよ」と豪快に笑ってくれた。人前で泣くのはみっともないと思っていた私だが、その瞬間涙があふれた。一人で、または家族だけで抱え込んで悩んでいる方、しんどいですよね。でも一人ではありません。助けを求めればいろんな人が手を差し伸べてくれるはず。勇気を出し、SOSしてください。

トリコチロマニアのこと知って

1/5 高校生 関根 果奈 (埼玉県 16)

みなさんは、トリコチロマニアという病気を知っていますか。別名抜毛症と呼ばれています。自分の毛を引き抜いてしまったり脱毛斑が出現する、自傷行為に似た心の病気で

私は小学校5年生の時からこの病気に悩んでいます。今では前頭部の髪がほとんどありません。この病気には治療薬がなく、精神科に相談するくらいしか治療法がありません。

私は、私と同じ症状で苦しむ人がたくさんいると知っています。しかし、私の周りには何も知ら

ず、「ハゲだ!」と後ろ指をさして笑ってくる人が多く、とても寂しい思いをしてきました。もし、あなたの大切な家族、友人、または恋人がこの病気で苦しんでいたとしたら、あなたは笑えますか。罵ることができますか。

見ているだけの人は面白いのかもしれない。でも、患者からすれば、ずっとついてくるかもしれない深刻な病気なのだとこのことを、あなたに伝えたい。どうかトリコチロマニアの人たちを笑わないで下さい。話を聞いてあげて下さい。居場所を作ってあげて下さい。それが、あなたが彼らにしてあげられることです。

お勧め図書館

「行動障害のある人の「暮らし」を支える」第2版
特定非営利活動法人 全国地域支援ネットワーク監修 中央法規 3,000円

支援者向けの本でやや高額なのですが、自傷・他害等の重度行動障害についての基本的な知識と対応がわかりやすく書かれています。いまさらそんな文字知識をおさらいしても・・・なのですが、あれこれ悩んだ時に初心に帰り考え直すことができました。ここ数年の法律の変化についての解説もあります。

支援者の立場で読む前提の内容ですが、保護者としてさまざまな支援の具体例を読むのもかなり参考になります。現在支援してくださっている方々との連携を大切にしなければ、と思いました。(森)

☆☆ 星くすのつぶやき 其の10 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

—— 新しい年に想うこと ——

昨年12月、小中学校の同級生(60代前半)のライブに行ってきました。「ローガンズ(老眼から…?)」というロックバンド・女性3人の合唱・ピアノ演奏の3部構成です。それぞれ現役の仕事に従事・親の介護・病気を克服して…等々、趣味で音楽に親しんで、みなの前で発表…いい人生ですよネ(大げさ?)彼、彼女たちは輝いていて実年齢よりかなり若く見えました。ビートルズナンバーや耳慣れた曲も多くステキな2時間となりました。

また、賛助会員、豆腐購入者の方々(今までご支援いただいた方も含めて)は、退職後、町会の要職、学校ボランティア、経験を活かした仕事もされていたり、趣味と実益を兼ね、家庭菜園(農産物の加工まで)、養蜂、合唱サークル etc. 頑張っているらしいです(中には大病後や持病と上手に付き合いながらの方も多く…)充実したシニア世代を送っていただける様です。

そんなお姿を拝見するにつけ、地元桐生に私たちのお手本が身近にいらっしゃるありがたさを日々感じております。「お会いすると元気をいただける幸せ」北斗七星がなかったら接点がなかったかもしれません(皆様に心より感謝)

私も還暦を過ぎたので、自然体で自分のやりたいこと、できることを探していこうと思います。そして、食=人を良くする(食べた物が明日からの身体を作る)心(ストレスに対処すること)動(適度な運動)に留意し、人間関係(家族・友人・仲間)を良好に保ち、感謝の心を忘れないこと…

これらのことを心に留め、余生を過ごしていこうと強く思っております。 遠藤敏江

編集後記

年が明けて平成30年!今年も元気に活動を始めることができました。みなさんはどのような年明けをお過ごしになったのでしょうか・・・表紙の“戌”の文字は、北斗七星の家、きらきら星、いちばん星のみんなの“あけましておめでとう”で作られています。それぞれの想いを込めた、たくさんの“あけましておめでとう”です。そして、指導員の今年の抱負は、こちらも四字熟語にぎゅぎゅっ!と詰め、楽しい新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願ひいたします。(石)